

# 消 防 年 報

日本パルクル協会会長  
**佐藤 惺**  
マジックショー  
パルクル教室  
フリークライミング体験  
命の愛の妖精  
命の妖精さん  
詳しい情報はQRコードから！

第22回 消防組合発足50周年記念  
**消防まつり**  
5.12 **10:15~15:00**  
場所 / 光地区消防組合消防本部

ステージイベント パーソナリティ  
**佐藤 けい** **沖永 優子**

EVENTS  
●オープニングもちまき ●フリークライミング体験 ●消防体験  
●はしご車搭乗体験 ●マジックショー・テーブルマジック  
●おたのしみ抽選会 ●パルクル教室 ●消防団の店  
●キッチンカー ●お菓子まき  
<共催> 光市 田布施町 周南市 <協賛> 光地区防災協会

光地区消防組合  
令和6年版

## まえがき

この消防年報は、光地区消防組合の管轄区域（光市、田布施町、周南市（熊毛地域））における消防現勢及び消防業務の執行に関する諸般の実績を収録し、今後の消防行政に資するとともに、本消防組合の現状を広く紹介するために編集したものです。

令和7年7月

光地区消防組合

この消防年報における周南市は、本消防組合の管轄区域（平成15年4月20日における熊毛町の区域）に限る。

# 消 防 指 針

## 1 ニーズに対応せよ

「ニーズに対応せよ」とは  
消防の内外を問わず、あらゆる消防業務の要望に対応できる資質・体制を整えることである。

## 1 スペシャリティに徹せよ

「スペシャリティに徹せよ」とは  
我々は消防の専門家であり、創意工夫とプロ意識を持ち、知識・技術の習得、向上に励み、たえず訓練をすることである。

## 1 セイフティを考えよ

「セイフティを考えよ」とは  
職員は、すべてのことに対して安全意識を持ち、士気の高揚を図ることである。

## 1 シュアに行動せよ

「シュアに行動せよ」とは  
消防業務遂行にあたっては、常に協調性を持って確実かつ信頼のおける活動と、何事にも迅速的確に行動することである。

## 1 ヘルスを維持せよ

「ヘルスを維持せよ」とは  
体力・気力の充実が基本であり、平素より自己管理を怠ることなく、明朗闊達かつ健全な精神を保持することである。

何事も至誠をもってあたり、信頼され尊敬され地域に親しまれ愛される消防人を  
目指そう。

光地区消防組合  
平成5年4月1日制定

# 目次

概 要 .....	5
位置と地勢 .....	5
消防庁舎の概要 .....	6
光地区消防組合の沿革 .....	7
管轄内で発生した災害の記録 .....	12
総 務 編 .....	13
光地区消防組合の組織 .....	13
令和7年度当初予算 .....	14
当初予算分担金及び負担金の推移 .....	14
決算収支の推移 .....	14
職員人事 .....	15
職員の教育研修状況 .....	16
消防音楽隊の概況 .....	16
消防応援協定等状況 .....	17
予 防 編 .....	18
火災予防業務 .....	18
防火対象物数 .....	18
各種事務処理件数 .....	19
中高層建物一覧 .....	20
危険物 .....	21
施設数 .....	21
事務処理件数 .....	22
仮貯蔵・仮取扱い承認件数 .....	23
立入検査件数 .....	23
届出件数 .....	23
その他 .....	24
条例等に基づく各種届出・査察状況 .....	24
幼年消防クラブ .....	25
婦人防火クラブ .....	25
消 防 編 .....	26
火災 .....	26
火災概要（1） .....	26
火災概要（2） .....	27
出火原因別火災件数 .....	28
時間別火災発生状況 .....	28
救急 .....	29
出動件数 .....	29
搬送人員数 .....	30
事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員数 .....	31
救急隊員の行った応急処置（1） .....	32

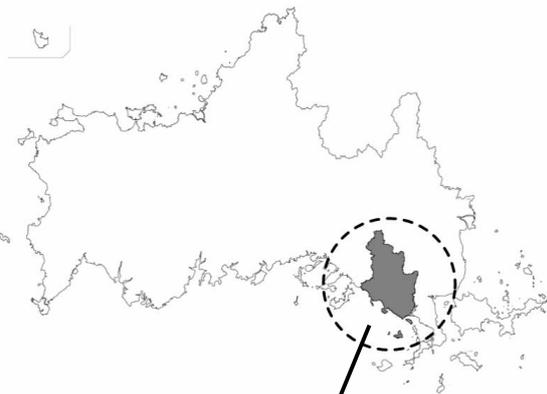
救急隊員の行った応急処置（２）	33
ドクターヘリ要請件数	34
応急手当の普及啓発活動実施状況	34
救急資機材配備状況（主な資機材）	34
救助	35
事故種別出動件数	35
特殊器具配置状況	35
ホース保有状況	37
消火薬剤備蓄状況	37
車両の配備	37
車両の配備（詳細）	38
通信指令編	39
災害受理状況	39
有線通信施設	40
無線通信施設	41
無線系統図	41
防災センター編	42
役割	42
月別利用状況	42
利用団体内訳	42

# 概要

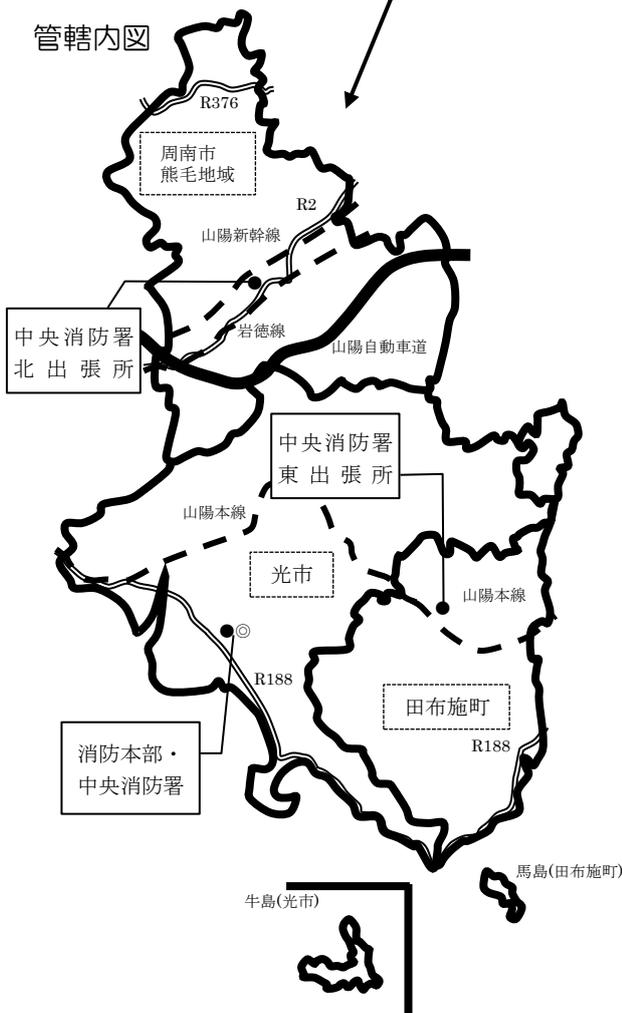
## 位置と地勢

本消防組合は山口県の南東部に位置する光市、田布施町及び周南市（熊毛地域）の2市1町で構成され、北部はナベヅルが飛来する山間部、中央部は島田川、田布施川を中心に田園地域が広がる平野部、南部は白砂青松の海岸部が広がり、管轄面積は約213k㎡、管轄人口は約7万5千人となっています。

### 位置図



### 管轄内図



### 面積・人口及び世帯数 (令和7年4月1日現在)

区分 市町	面積 (k㎡)	人口 (人)	世帯数 (戸)
光市	92.13	47,544	23,334
田布施町	50.42	13,975	6,872
周南市 (熊毛地域)	70.50	13,967	6,672
合計	213.05	75,486	36,878



八代のナベヅル (周南市)

伊藤公資料館 (光市)



象鼻ヶ岬 (光市)



田布施川桜並木  
(田布施町)



## 消防庁舎の概要

区分	所在地	庁舎の構造等	経過
消防本部	〒743-0011 光市光井六丁目 16 番 1 号 TEL 0833-74-5600 FAX 0833-74-5611 (消防総務課) TEL 0833-74-5600 (企画財務課) TEL 0833-74-5601 (予防課) TEL 0833-74-5602 (警防課) TEL 0833-74-5603 (防災センター) TEL 0833-74-5606	敷地面積 13,374.86 m <sup>2</sup> ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3 階建 建築面積 2,241.39 m <sup>2</sup> 延べ面積 3,298.29 m <sup>2</sup>  ○訓練塔 主塔 鉄筋コンクリート造 7 階建 建築面積 28.50 m <sup>2</sup> 延べ面積 118.00 m <sup>2</sup> 副塔 鉄筋コンクリート造 3 階建 建築面積 144.96 m <sup>2</sup> 延べ面積 273.57 m <sup>2</sup>	H15. 2. 28 竣工
中央消防署	(中央消防署) TEL 0833-74-5605 FAX 0833-74-5614 (消防対策課) TEL 0833-74-5604		
中央消防署 東出張所	〒742-1503 田布施町大字宿井 1091 番 1 TEL 0820-52-3103 FAX 0820-52-3104	敷地面積 1,042.46 m <sup>2</sup> ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造平屋建 建築面積 239.72 m <sup>2</sup> 延べ面積 239.72 m <sup>2</sup>	S48. 3 竣工 H10. 3 増築
中央消防署 北出張所	〒745-0612 周南市大字呼坂 10009 番 2 TEL 0833-91-0001 FAX 0833-91-0002	敷地面積 2,238.15 m <sup>2</sup> ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平屋建 建築面積 306.13 m <sup>2</sup> 延べ面積 295.93 m <sup>2</sup>	S48. 3 竣工 H4. 11 増築 H10. 12 増築 R6. 3 敷地拡張

## 光地区消防組合の沿革

昭和23年（1948年） 3月

### 1940年代

消防組織法の施行（自治体消防発足）

昭和26年（1951年） 3月  
昭和28年（1953年） 4月

### 1950年代

光市が消防本部を設置（市役所内）

光市消防署を設置

6月  
6月

光市光井宮元町（現 光市中央四丁目）に消防署を新築

業務開始（1本部、1署、職員数16名、消防ポンプ自動車1台、自動三輪車1台）

昭和36年（1961年） 6月

### 1960年代

光市光井正門町4番地（現 光市中央五丁目12番1号）に光市消防本部及び光市消防署竣工（延べ面積270㎡）

昭和43年（1968年） 10月

救急業務開始（救急自動車1台）

昭和47年（1972年） 3月

### 1970年代

大和町、田布施町及び熊毛町が消防本部・消防署の義務設置の政令指定について自治省へ陳情書提出

4月

消防本部及び消防署を置かなければならない市町村を定める政令（昭和46年政令第170号）により、大和町、田布施町及び熊毛町が消防本部及び消防署を置かなければならない市町村に指定

6月

光地区消防組合設置許可申請書を山口県知事に提出

7月

山口県知事許可、光地区消防組合発足（光市、大和町、田布施町及び熊毛町が共同設置）

12月

城南出張所（現 東消防署 田布施町大字宿井1091番1）及び呼坂出張所（現 北消防署 周南市大字呼坂10009番2）起工

昭和48年（1973年） 3月

光地区消防組合業務開始（1本部、1署、2出張所、職員数58名、消防ポンプ自動車3台、水槽付消防ポンプ自動車2台、屈折はしご付消防ポンプ自動車1台、救急自動車4台、その他の車両5台）

4月

職員定数81名

5月

光市光井正門町4番地（現 光市中央五丁目12番1号）に消防本部及び光消防署庁舎竣工

6月

光消防署に消防ポンプ自動車1台を配備（日本損害保険協会から寄贈）

7月

光地区アクアラング協力隊が発足（光市防災協会の部会として、アクアラング協会隊員8名、光消防署アクアラング隊員5名で結成）

7月

光地区消防組合消防本部庁舎開庁式

昭和49年（1974年） 8月

職員定数83名に改正

昭和50年（1975年） 9月

光消防署に救急自動車1台を配備（日本消防協会から寄贈）

昭和51年（1976年） 4月

消防本部に広報車1台を配備

昭和53年（1978年） 12月

光消防署に救急自動車1台を配備（山口県生命建物共済農業組合連合会から寄贈）

昭和54年（1979年） 4月

職員定数84名に改正

9月

消防本部に広報車1台を配備

### 1980年代

昭和56年（1981年） 3月

消防本部敷地内に倉庫（鉄骨造、延べ面積83.3㎡）及び非常用発

		電機室（コンクリートブロック造、延べ面積8.75㎡）竣工
	4月	職員定数85名に改正
	10月	光消防署に消防ポンプ自動車1台を配備
昭和57年（1982年）	6月	城南出張所に水槽付小型動力ポンプ積載車1台を配備
	6月	光地区消防音楽隊を設置
	9月	呼坂出張所に救急自動車1台を配備（日本消防協会から寄贈）
	12月	呼坂出張所に水槽付小型動力ポンプ積載車1台を配備
昭和58年（1983年）	10月	光消防署に化学消防ポンプ自動車1台を配備（日本損害保険協会から寄贈）
	10月	光消防署の水槽付消防ポンプ自動車1台を更新
昭和59年（1984年）	3月	光消防署の倉庫を増築（延べ面積138.69㎡）
	4月	光消防署に水難救助隊を編成
	11月	城南出張所の消防ポンプ自動車1台を更新
昭和60年（1985年）	1月	光消防署の救急自動車1台を更新
	10月	呼坂出張所の消防ポンプ自動車1台を更新
	11月	消防一斉通報指令装置を導入
昭和61年（1986年）	11月	光消防署庁舎を増築（92㎡増築）
昭和62年（1987年）	2月	城南出張所の救急自動車1台を更新
	11月	光消防署の水槽付消防ポンプ自動車1台を更新
平成元年（1989年）	3月	光消防署に訓練塔竣工（5階建、延べ面積94.3㎡）

## 1990年代

平成2年（1990年）	2月	光消防署に救急自動車1台を配備（日本自動車工業会から寄贈）
平成3年（1991年）	2月	光消防署に救急自動車1台を配備（山口県生命建物共済農業協同組合から寄贈）
	2月	光消防署にはしご付消防自動車（30m級）を配備
	4月	職員定数87名に改正
	12月	光消防署に救助工作車を配備
平成4年（1992年）	2月	光消防署の消防ポンプ自動車1台を更新
	4月	職員定数93名に改正
	6月	城南出張所の水槽付小型動力ポンプ積載車1台を更新
	7月	予防業務の窓口を一部変更（城南出張所及び呼坂出張所で予防事務取扱開始）
	9月	衛生通信ネットワーク整備事業完成に伴い防災行政無線の運用開始
	12月	山陽自動車道開通に伴い呼坂出張所に救急車1台を追加配備
平成5年（1993年）	4月	光地区消防組合消防指針を制定
	9月	消防本部に広報車1台（防火号）を配備（日本防火協会寄贈）
	10月	呼坂出張所に水槽付小型動力ポンプ積載車1台を配備
	12月	円滑な消防業務の推進を図るため、大和町、田布施町及び熊毛町からの119番通報を光消防署の通信室に統合し一斉指令装置を整備
平成6年（1994年）	4月	職員定数97名に改正
平成7年（1995年）	4月	3消防署体制に組織改編 光消防署を中央消防署に、城南出張所を東消防署に、呼坂出張所を北消防署に変更 消防本部に連絡車1台（クラウン）を配備、中央消防署に消防ポンプ自動車1台（CD-1）を配備、東消防署に救急自動車1台を配備、インパルス消火システムその他応急処置資機材・救助資機材を配備
平成8年（1996年）	4月	職員定数107名に改正
	10月	光地区消防組合消防職員委員会を設置

	12月	東消防署の消防ポンプ自動車1台を更新、中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車1台を更新
平成9年(1997年)	2月	中央消防署に高規格救急自動車1台を配備
	4月	救急救命士の運用を開始
	12月	管理者が消防本部庁舎の新築移転を表明
平成10年(1998年)	2月	光地区消防組合議会において消防本部庁舎の新築移転に伴う庁舎用地購入の債務負担行為が可決
	4月	組織改正により3部制による勤務体制に変更 携帯電話からの119番通報受信開始(県下5ブロック(下関、宇部、山口、徳山、岩国)の代表消防本部に入電する分散受信方式)
	12月	北消防署の消防ポンプ自動車1台を更新
平成11年(1999年)	2月	中央消防署の化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)1台を更新
	4月	F a x 1 1 9の運用を開始

## 2000年代

平成12年(2000年)	12月	北消防署の救急自動車(2B)1台を高規格救急自動車に更新
平成13年(2001年)	3月	消防庁舎建設用地15,368㎡を光市土地開発公社から取得
	4月	職員定数113名に改正
	8月	消防本部に連絡車を配備
	10月	中央消防署に水槽付消防ポンプ自動車1台を配備(日本損害保険協会から寄贈)
平成14年(2002年)	1月	光地区消防組合消防本部庁舎起工
	3月	中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車1台を災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車に更新
平成15年(2003年)	1月	東消防署の救急自動車(2B)1台を高規格救急自動車に更新
	2月	光市光井六丁目16番1号に光地区消防組合消防本部庁舎・防災センター竣工、総事業費21億円(用地取得費含む)
	4月	新庁舎での業務を開始
	4月	周南市発足に伴い光地区消防組合構成市町が2市2町(光市、大和町、田布施町、周南市)となる
	9月	Eメール119番の運用を開始
平成16年(2004年)	10月	光市と大和町の合併に伴い光地区消防組合構成市町が2市1町(光市、田布施町、周南市)となる
平成17年(2005年)	3月	中央消防署の救急自動車(2B)1台を高規格救急自動車に更新
	10月	携帯電話からの119番通報の直接受信開始(山口県下一斉)
平成18年(2006年)	9月	防災センター「あんしんねっと光」利用者が2万人を達成
平成19年(2007年)	3月	中央消防署の高規格救急自動車1台を更新
平成21年(2009年)	1月	北消防署の高規格救急自動車1台を更新(日本損害保険協会から寄贈)

## 2010年代

平成22年(2010年)	12月	中央消防署の救助工作車1台を更新
平成23年(2011年)	3月	東北地方太平洋沖地震(最大震度7)の発生により山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊を宮城県へ派遣(派遣隊員数5名)
	3月	東消防署の水槽付小型動力ポンプ積載車1台を更新
	12月	東消防署の高規格救急自動車1台を更新
平成24年(2012年)	2月	北消防署の水槽付小型動力ポンプ積載車1台を水槽付消防ポンプ自動車に更新
平成25年(2013年)	3月	中央消防署の消防ポンプ自動車1台(CD-1)を更新
平成26年(2014年)	2月	東消防署の消防ポンプ自動車1台(CD-1)を更新
	8月	広島県で大規模な土砂災害が発生し山口県緊急消防援助隊とし

平成27年 (2015年)	3月	て消火小隊1隊を広島県へ派遣 (派遣隊員数5名) 北消防署の消防ポンプ自動車1台 (CD-1)を更新、中央消防署の高規格救急自動車1台を更新
平成28年 (2016年)	4月 4月	アナログ無線を廃止し消防救急デジタル無線の運用を開始 熊本地震 (最大震度7) の発生により山口県緊急消防援助隊として消火小隊2隊及び後方支援小隊2隊を熊本県へ派遣 (延べ派遣隊員数14名)
平成29年 (2017年)	7月 3月 3月 7月	高機能消防指令センター起工 高機能消防指令センター竣工 高機能消防指令センターでの指令業務を開始 福岡県で豪雨災害 (平成29年7月九州北部豪雨) が発生し山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊及び後方支援小隊1隊を派遣 (延べ派遣隊員数35名)
平成30年 (2018年)	8月 3月 7月	広島市と消防相互応援協定を締結 中央消防署のはしご付消防自動車を屈折はしご付消防自動車に更新、北消防署の高規格救急自動車1台を更新 広島県で豪雨災害 (平成30年7月豪雨) が発生し山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊を派遣 (延べ派遣隊員数20名)

**2020年代**

令和2年 (2020年)	3月 7月	消防本部に資機材搬送車を配備、中央消防署の消防ポンプ自動車 (CD-1) を小型動力ポンプ積載車に更新 熊本県で豪雨災害 (令和2年7月豪雨) が発生し山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊、後方支援小隊1隊を派遣 (延べ派遣隊員数9名)
令和3年 (2021年)	3月 4月 11月	光東株式会社と災害時におけるレンタル資機材の供給に関する協定を締結 1消防署2出張所体制に組織改編 東消防署を中央消防署東出張所に、北消防署を中央消防署北出張所に変更 NET119の運用を開始 中央消防署の化学消防車1台を更新 光市内で発見された不発弾 (米国製250kg爆弾) を自衛隊が処理するため、消防本部庁舎内に光市不発弾処理対策本部が設置される
令和4年 (2022年)	2月 4月 5月 9月 12月	中央消防署東出張所の高規格救急自動車1台を更新 職員定数124名に改正 民間事業者 (4者) と火災時における消火用水の確保に関する協定を締結 新型コロナウイルス感染拡大により、山口県が設置した「入院待機施設」へ職員を派遣 (延べ派遣職員数30名) マイナポータル・びったりサービスによる電子申請を開始 (火災予防分野の一部の届出)
令和5年 (2023年)	3月 8月	中央消防署の高規格救急自動車1台を更新 中央消防署東出張所及び北出張所の耐震診断を実施 (構造耐震指標0.3以下)
令和6年 (2024年)	2月 3月 5月 6月 9月	消防本部庁舎北側法面を改修 中央消防署東出張所建設用地 (2,541.45㎡) を取得 中央消防署北出張所建設用地 (1,227.23㎡) を取得 光地区消防組合発足50周年記念式典 無人航空機 (ドローン) 操縦者を養成 (職員5名) 中央消防署東出張所庁舎起工

10月 周南地域における通信指令事務の共同運用に向け、周南市・光  
地区消防組合・下松市消防通信指令事務協議会を設置  
11月 中央消防署北出張所庁舎起工  
12月 中央消防署の高規格救急自動車1台を更新

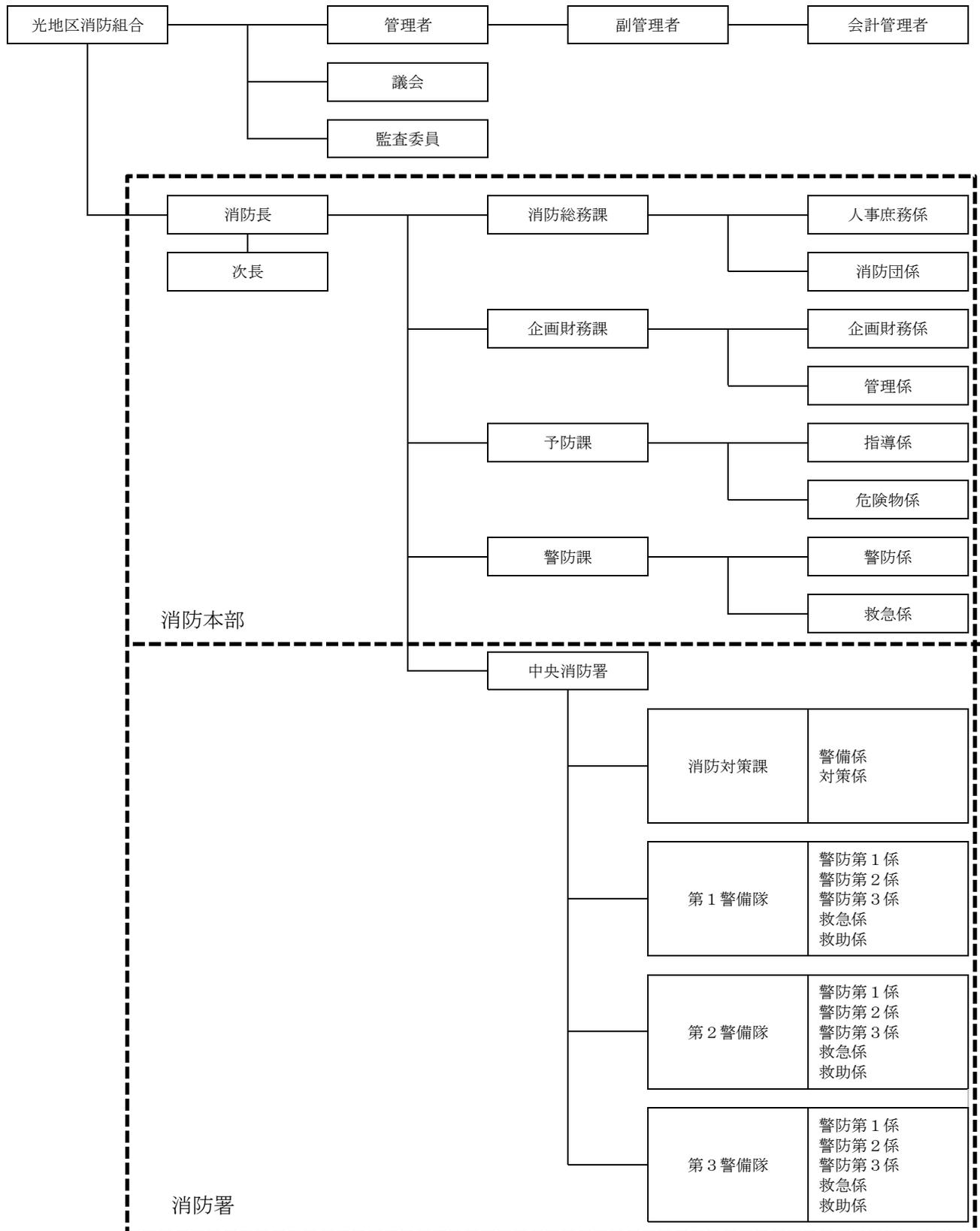
## 管轄内で発生した災害の記録

年月日	災害種別	災害の概要
昭和 26 年(1951 年) 10 月 14 日	台風災害	ルース台風により、漁船(全損 30 隻、被損 92 隻)、家屋(全壊 56 戸、半壊 95 戸)が被害を受け、10 名が負傷した。また、島田川に架けられていた千歳橋が流出した。
昭和 43 年(1968 年) 4 月 7 日	林野火災	光市室積の千坊山で林野火災が発生し 29 時間延焼し続け 143ha が焼失した。
昭和 55 年(1980 年) 7 月 7 日	大雨災害	豪雨により島田川の堤防が決壊した。水源地から配水池間の送水管が破損し、市内全域が断水した。
平成 3 年(1991 年) 9 月 27 日	台風災害	台風 19 号により防波堤が決壊したことから、191 戸が床上・床下浸水の被害に遭い、211 名の住民が避難した。(最大風速 42m を記録)
平成 4 年(1992 年) 9 月 4 日	労働災害	JR 岩徳線中山トンネル内の酸欠事故により、29 名が負傷した。
平成 5 年(1993 年) 8 月 2 日	大雨災害	山口・九州地方で猛烈な雨が降り、光市で 2 名、大和町で 1 名が死亡した。(日積算降雨量 158.4mm)
平成 10 年(1998 年) 7 月 2 日	建物火災	光市中央で発生した住宅火災により 3 名が死亡し、1 名が負傷した。
平成 16 年(2004 年) 9 月 7 日	台風災害	台風 18 号により、家屋(全壊 1 戸、半壊 2 戸)の被害が発生し、225 世帯 547 名が避難した。(最大風速 45.2m)
平成 17 年(2005 年) 6 月 10 日	爆発事故	生徒が教室に爆発物を投げ込み、56 名の負傷者が発生した。救急車等 11 台の車両が出場し、救急活動にあたった。
平成 30 年(2018 年) 7 月 5 日～7 月 8 日	大雨災害	西日本を中心に猛烈な雨が降り、土砂災害により周南市大字樋口で 1 名が死亡した。そのほか、島田川沿い(光市)などで浸水被害が発生した。

# 総務編

## 光地区消防組合の組織

令和7年4月1日現在



## 令和7年度当初予算

単位：千円

歳 入		歳 出	
分担金及び負担金	1,401,200	議 会 費	207
使用料及び手数料	1,000	総 務 費	718
財 産 収 入	100	消 防 費	2,463,628
繰 入 金	56,694	公 債 費	201,730
繰 越 金	15,000	予 備 費	8,717
諸 収 入	8,406		
組 合 債	1,192,600		
合 計	2,675,000	合 計	2,675,000

## 当初予算分担金及び負担金の推移

単位：千円

年度	市町	光 市	田布施町	周南市	合 計
令 和 3 年		687,744	242,491	245,006	1,175,241
令 和 4 年		717,449	248,249	248,133	1,213,831
令 和 5 年		714,033	247,041	246,924	1,207,998
令 和 6 年		740,566	256,281	256,161	1,253,008
令 和 7 年		827,731	286,802	286,667	1,401,200

## 決算収支の推移

単位：千円

年度	区分	歳 入	歳 出
令 和 元 年		1,248,436	1,214,143
令 和 2 年		1,421,014	1,378,718
令 和 3 年		1,257,511	1,218,400
令 和 4 年		1,349,776	1,311,306
令 和 5 年		1,474,640	1,430,238

# 職員人事

令和7年4月1日現在 単位：人

区分		階級	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計	再 任 用 う ち	
配 置 状 況	消 防 本 部	消 防 長	1							1	1	
		次 長	(1)							(1)	(1)	
	消 防 署	消 防 総 務 課		1	1	2	2				6	
		企 画 財 務 課		1	2	2	1		1		7	
		予 防 課		1	1	4	1		1		8	
		警 防 課		1	1	1	1				4	
		派 遣 ・ 研 修						3		2	5	
		合 計		1	6	17	44	34	4	16	122	2
	年 齢 構 成	20 歳 未 満								1	1	
		20 歳 以 上 25 歳 未 満								11	11	
		25 歳 以 上 30 歳 未 満						7	4	3	14	
		30 歳 以 上 35 歳 未 満						19			19	
		35 歳 以 上 40 歳 未 満					14	6			20	
		40 歳 以 上 45 歳 未 満			3	10	2				15	
45 歳 以 上 50 歳 未 満			1	7	11					19		
50 歳 以 上 55 歳 未 満			5	5	9					19		
55 歳 以 上 60 歳 未 満				2						2		
60 歳 以 上			1						1	2	2	
合 計		1	6	17	44	34	4	16	122	2		
勤 続 年 数	5 年 未 満				2	4	1	13		20		
	5 年 以 上 10 年 未 満					3	2	3		8		
	10 年 以 上 15 年 未 満				17	2				19		
	15 年 以 上 20 年 未 満				11	9				20		
	20 年 以 上 25 年 未 満			4	9	1				14		
	25 年 以 上 30 年 未 満		3	10	10					23		
	30 年 以 上 35 年 未 満		2	3	8					13		
	35 年 以 上 40 年 未 満		1		2					3		
	40 年 以 上		1						1	2	2	
合 計		1	6	17	59	19	3	17	122	2		

※（ ）内は兼務：消防長が次長を兼務

職員の教育研修状況

単位：人

教育研修区分 年度	山口県消防学校								消防大学校					救急救命士研修						
	初任	専科教育			特別教育	幹部教育		大規模災害対策科	総合教育		専科教育			気管挿管 (硬性喉頭鏡) 認定実習	気管挿管 (ビデオ喉頭鏡) 認定実習	薬剤投与追加講習	処置拡大追加講習	救急救命士新規養成研修	指導救命士養成研修	
		救	火災調査科	予防消防団指導科		水難救助科	初級幹部科		中級幹部科	上級幹部科	幹部科	救急科	警防科							危機管理教育科
平成26年	5	1	1	1		1		1	1				1		2			4	1	
平成27年	4	1	1	1		1	1		1					1				9	1	
平成28年	3	1	1	1		1		1	1	1				2				8	1	
平成29年	4	1	1	1	1	1	1		1					1				3		1
平成30年	2	1	1	1	1	1		1	1					1						1
令和元年	1	1	1	1	1	1	1		1											1
令和2年	2	1	1																	1
令和3年	3	1		1		1	1							1						
令和4年	2	1	1	1	1	1		1	1					1						
令和5年	3	1	1	1		1	1		1					1	6					
令和6年	5	2	1	1				1	1		1	1		1	6					1

消防音楽隊の概況

令和7年4月1日現在 単位：人

結 成	昭和57年6月18日					
隊 員 編 成	隊 長	1	副 隊 長	1		
	副 楽 長	1	隊 員	19		
楽 器 編 成	クラリネット	4	サクソフーン	4	ユーホニウム	1
	ホルン	3	トランペット	3	パーカッション	3
	トロンボーン	1	スーザフォン	1		

## 消防応援協定等状況

令和7年4月1日現在

協定等の名称	締結機関	締結年月日	協定概要
火災調査等にかかる消防相互応援協定	県内3市及び2消防組合	平成15年4月21日 (改正)	大規模災害時の火災調査等の相互応援
災害時における相互協力に関する覚書	光警察署	平成23年8月1日	庁舎使用、情報共有及び災害活動の相互協力
災害時における協力に関する協定	光市	平成24年2月1日	庁舎使用の協力
山口県内広域消防相互応援協定	県内19市町及び4消防組合	平成24年4月1日 (改正)	消防組織法第39条の規定に基づく相互応援
山口県消防防災ヘリコプター応援協定	県内19市町及び4消防組合	平成24年4月1日 (改正)	消防防災ヘリコプターによる応援
「母体・新生児救急搬送マニュアル」に係る救急業務相互応援協定	県内8市及び4消防組合	平成24年4月1日 (改正)	母体・新生児搬送等に係る相互応援
中国自動車道及び山陽自動車道における消防相互応援協定	県内10市及び3消防組合	平成24年4月1日 (改正)	中国自動車道及び山陽自動車道における相互応援
鉄道災害時の安全対策に関する覚書	県内12消防本部及び西日本旅客鉄道株式会社	平成24年6月29日	鉄道災害時の安全対策等の相互協力
広島市及び光地区消防組合消防相互応援協定	広島市	平成29年8月28日	消防組織法第39条の規定に基づく相互応援
光地区消防組合と徳山海上保安部との業務協定	徳山海上保安部	令和2年3月1日 (改正)	船舶火災等における相互協力
災害時におけるレンタル資機材の供給に関する協定	光東株式会社	令和3年3月26日	レンタル資機材の供給協力
火災時における消火用水の確保に関する協定	株式会社ファノス、光環境整備株式会社、熊谷興業株式会社、株式会社エコミックス田布施工場	令和4年5月26日	消火用水の給水支援

# 予 防 編

## 火災予防業務

防火対象物数

令和7年4月1日現在 単位：棟

防火対象物の区分			延べ面積 150 m <sup>2</sup> 以上 (17項は 150 m <sup>2</sup> 未満を含む)				防火管理者の選任要			
			光 市	田 布施 町	周 南 市	合 計	光 市	田 布施 町	周 南 市	合 計
1	イ	劇場等	1			1				
	ロ	公会堂等	37	9	11	57	44	8	12	64
2	イ	キャバレー等	1			1	1			1
	ロ	遊技場等	2		1	3	2		1	3
	ハ	性風俗特殊営業店舗等								
	ニ	カラオケボックス等								
3	イ	料理店等								
	ロ	飲食店	20	5	3	28	26	5	3	34
4		百貨店等	78	16	9	103	53	12	7	72
5	イ	旅館等	9	1	4	14	5	1	1	7
	ロ	共同住宅等	456	72	23	551	39	3	4	46
6	イ	病院等	27	4	2	33	13	2		15
	ロ	特別養護老人ホーム等	34	9	15	58	31	6	12	49
	ハ	老人デイサービスセンター等	43	15	12	70	22	6	7	35
	ニ	幼稚園等	4	11	4	19	3	4	3	10
7		学校	68	27	20	115	18	6	6	30
8		図書館等	3	2	1	6	3	2		5
9	イ	特殊浴場		1		1		1		1
	ロ	一般浴場	1		1	2	1		1	2
10		停車場等	2	1		3				
11		神社・寺院等	47	37	10	94	10	9	4	23
12	イ	工場等	194	107	48	349	14	6	1	21
	ロ	スタジオ								
13	イ	駐車場等	14	5	5	24				
	ロ	航空機格納庫								
14		倉庫	126	80	31	237				
15		事務所等	286	70	43	399	31	9	4	44
16	イ	特定複合用途防火対象物	130	31	21	182	54	16	9	79
	ロ	非特定複合用途防火対象物	82	16	9	107	4			4
16の2		地下街								
17		文化財	4	1	3	8				
18		アーケード								
合 計			1,669	520	276	2,465	374	96	75	545

各種事務処理件数

令和6年4月1日～令和7年3月31日 単位：件

防火対象物の区分		同意・査察等				査 察				防 火 指 導			
		建 築 同 意				査 察				防 火 指 導			
		光 市	田 布施 町	周 南市	合 計	光 市	田 布施 町	周 南市	合 計	光 市	田 布施 町	周 南市	合 計
1	イ	劇場等											
	ロ	1	1		2					2	1	1	4
2	イ	キャバレー等											
	ロ	遊技場等											
	ハ	性風俗特殊営業店舗等											
	ニ	カラオケボックス等											
3	イ	料理店等											
	ロ	1			1	6			6				
4		3		1	4	81	14	12	107	14	2	3	19
5	イ	旅館等											
	ロ	共同住宅等											
6	イ	病院等											
	ロ	特別養護老人ホーム等											
	ハ	6			6	42	11	14	67	8	3	4	15
	ニ	幼稚園等											
7		学校											
8		図書館等											
9	イ	特殊浴場											
	ロ	一般浴場											
10		停車場等											
11		神社・寺院等											
12	イ	2			2	1	2		3	4	1		5
	ロ	スタジオ											
13	イ	駐車場等											
	ロ	航空機格納庫											
14		6	2	1	9	37	44	21	102				
15		3	4	2	9	9	1	6	16	3			3
16	イ	1	2		3	25	6	6	37	6	1	2	9
	ロ	非特定複合用途防火対象物											
16の2		地下街											
17		文化財											
18		アーケード											
合 計		23	11	5	39	279	94	67	440	72	17	22	111

中高層建物一覽

令和7年4月1日現在 単位：棟

防火対象物の区分		階数	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階以上
1	イ	劇場等								
	ロ	公会堂等								
2	イ	キャバレー等								
	ロ	遊技場等								
	ハ	性風俗特殊営業店舗等								
	ニ	カラオケボックス等								
3	イ	料理店等								
	ロ	飲食店								
4		百貨店等								
5	イ	旅館等	2	2	1	1				
	ロ	共同住宅等	48	13	2	3			3	3
6	イ	病院等	3	2	1		1			
	ロ	特別養護老人ホーム等		1	1					
	ハ	老人デイサービスセンター等			1					
	ニ	幼稚園等	1							
7		学校	7	1						
8		図書館等								
9	イ	特殊浴場								
	ロ	一般浴場								
10		停車場等								
11		神社・寺院等	3	1			1			
12	イ	工場等	2	1	1	1				
	ロ	スタジオ								
13	イ	駐車場等								
	ロ	航空機格納庫								
14		倉庫								
15		事務所等	1	3	1	1				
16	イ	特定複合用途防火対象物	5		1					
	ロ	非特定複合用途防火対象物	2	1						
17		文化財								
合 計			74	25	9	6	2		3	3
市	光 市		54	22	8	5	1		3	3
	田布施町		10	3		1	1			
	周南市		10		1					
町	合 計		74	25	9	6	2		3	3

危険物  
施設数

令和7年4月1日現在 単位：施設

危険物の類		製造所等別		製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	合 計	
		第1類	第2類												
第1類															
第2類															
第3類				1						2					3
第4類		1		36	63	2	29	1	21	12	42	62		269	
第5類				2										2	
第6類															
混在		2		5									4	11	
合計		3		44	63	2	29	1	23	12	42	66		285	
市 町	光 市	第1類													
		第2類													
		第3類			1										1
		第4類	1		22	55		16		7	8	28	43		180
		第5類			1										1
		第6類													
		混在			1									4	5
		合計	1		25	55		16		7	8	28	47		187
	田 布 施 町	第1類													
		第2類													
		第3類								2					2
		第4類			11	5	1	12		14	4	9	17		73
		第5類			1										1
		第6類													
		混在	2		4										6
		合計	2		16	5	1	12		16	4	9	17		82
	周 南 市	第1類													
		第2類													
		第3類													
		第4類			3	3	1	1	1			5	2		16
		第5類													
		第6類													
		混在													
合計				3	3	1	1	1			5	2		16	

※「混在」とは、類を異にする危険物を貯蔵し、又は取扱っているものをいう。

事務処理件数

令和6年4月1日～令和7年3月31日 単位：件

区分			製造所等別	製造所	貯蔵所						取扱所		合計	
					屋内	屋外	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	給油		一般
許可	設置	光市			2								2	
		田布施町							1				1	
		周南市												
		合計			2				1				3	
	変更	光市		4		3					8	49	64	
		田布施町	1	2				1			1		5	
		周南市									1		1	
		合計	1	6		3		1			10	49	70	
完成	設置	光市			2								2	
		田布施町								1			1	
		周南市												
		合計				2				1			3	
	変更	光市		2		3					7	38	50	
		田布施町	4	1				1			1	1	8	
		周南市												
		合計	4	3		3		1			8	39	58	
仮使用承認	光市		4		3					7	48	62		
	田布施町	3	1							1		5		
	周南市									1		1		
	合計	3	5		3					9	48	68		
完成検査前検査	水張	光市												
		田布施町												
		周南市												
		管轄外												
	合計													
	水圧	光市									1			1
		田布施町												
		周南市												
管轄外		1									1		2	
合計	1								1	1		3		
廃止	光市		1	1	1					1	4		9	
	田布施町									1	1		2	
	周南市													
	合計		1	1	1					2	5		11	

※完成検査前検査の「管轄外」は、他の市町村に設置する液体危険物タンクに対する検査をいう。

仮貯蔵・仮取扱い承認件数

令和6年4月1日～令和7年3月31日 単位：件

市町	区分	仮貯蔵	仮取扱い	合計
光市		3	18	21
田布施町				
周南市				
合計		3	18	21

立入検査件数

令和6年4月1日～令和7年3月31日 単位：施設

市町	製造所等別	製造所	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所	合計
光市			9	19		2		4	2	21	22	79
田布施町			8	2		5		2		6	11	34
周南市				1	1					3	2	7
合計			17	22	1	7		6	2	30	35	120

届出件数

令和6年4月1日～令和7年3月31日 単位：件

市町	区分	譲渡引渡届	品名数量倍数変更届	危険物保安監督者選解任届	予防規程認可申請	名称等変更届	設備変更届	製造所休止・再開届	事故発生届	合計
光市		1	23	29	3	11	163	2	7	239
田布施町			14	1		6	22			43
周南市			1				3			4
合計		1	38	30	3	17	188	2	7	286

## その他

条例等に基づく各種届出・査察状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日 単位：件

種別	届出・査察 市町	届 出				査 察			
		光 市	田布施町	周南市	合 計	光 市	田布施町	周南市	合 計
圧縮	圧縮アセチレンガス		1		1				
	液化石油ガス	12	3	4	19	1		1	2
アガ	生 石 灰								
セス	毒 物								
チ等	劇 物								
指定可燃物等	可燃性固体類								
	石灰・木炭等								
	可燃性液体類								
	合成樹脂類	1		1	2	1		1	2
	その他								
少危険量物	施 設	18		1	19				
	移動タンク		1		1		1		1
	炉		2		2		2		2
	温風暖房機								
	厨房設備								
	ボイラー	1			1				
	乾燥設備								
	サウナ設備								
	給湯湯沸設備	4		1	5	4		1	5
	変電設備	9	5	5	19	10	1	4	15
	急速充電設備					1			1
	発電設備	2	2	1	5	2	2	1	5
	蓄電池設備	7		1	8	7		1	8
	ネオン管灯設備								

## 幼年消防クラブ

令和7年4月1日現在 設立順

市 町	団 体 名	設 立	クラブ員数
周 南 市	明照幼稚園幼年消防クラブ	昭和 60 年 5 月 1 日	14 人
光 市	虹ヶ丘幼児学園幼年消防クラブ	昭和 60 年 11 月 26 日	97 人
周 南 市	ひまわり保育園幼年消防クラブ	昭和 61 年 12 月 7 日	60 人
田布施町	たぶせ保育園幼年消防クラブ	昭和 62 年 11 月 24 日	103 人
周 南 市	大河内幼稚園幼年消防クラブ	昭和 63 年 5 月 29 日	69 人
光 市	束荷幼稚園幼年消防クラブ	平成 2 年 4 月 10 日	8 人
光 市	野原保育園幼年消防クラブ	平成 3 年 11 月 25 日	42 人
光 市	三輪幼稚園幼年消防クラブ	平成 4 年 4 月 1 日	25 人

## 婦人防火クラブ

令和7年4月1日現在

市 町	団 体 名	設 立	クラブ員数
周 南 市	明照婦人防火クラブ	平成 7 年 2 月 1 日	20 人

# 消 防 編

## 火災

令和6年中の火災件数は44件で、前年と比較すると4件減少しています。火災種別で見ると、建物火災9件（6件減）、林野火災6件（1件増）、車両火災1件（1件減）、その他の火災28件（2件増）となっています。

なお、損害額は、4,084千円となっており、このうち、建物火災によるものが2,547千円で全体の約62%を占めています。

※その他の火災とは、火災種別が建物、林野、車両、船舶又は航空機に区分されない火災をいう。

### 火災概要（1）

令和6年中

火災件数等 区分		火災件数					焼損棟数					焼損面積	
		建 物	林 野	車 両	そ の 他	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	建物床 (㎡)	林野 (a)
月	1月			1	2	3							
	2月		1		1	2							0.1
	3月	1			3	4				1	1		
	4月				1	1							
	5月	2			4	6	1		1	2	4	60	
	6月	1				1				1	1		
	7月	1	1		2	4				1	1		0.1
	8月				7	7							
	9月	2			3	5		1	1		2	45	
	10月	1	1		1	3				1	1		0.1
	11月	1	2		2	5				1	1		1.1
	12月		1		2	3							1
		合 計	9	6	1	28	44	1	1	2	7	11	105
市 町	光 市	6	5		12	23	1			5	6	60	5
	田布施町	3	1	1	4	9		1	2	2	5	45	1
	周南市				12	12							
	合 計	9	6	1	28	44	1	1	2	7	11	105	6
年	令和元年	9	6	1	19	35	4	2	3	5	14	407	55.1
	令和2年	11	3		17	31	10	1	6	3	20	655	2.6
	令和3年	14	4	4	21	43	5	2	6	7	20	710.3	46.8
	令和4年	15	4	2	28	49	11	2	12	5	30	1,383	16.7
	令和5年	15	5	2	26	48	10	2	5	6	23	1,501.9	35.6

火災概要（２）

令和 6 年中

区分		死傷者等	死者	負傷者	り災人員	り災世帯数				損害額（千円）				
						全損	半損	小損	合計	建物	林野	車両	その他	合計
月	1 月										54	298	352	
	2 月													
	3 月								41			131	172	
	4 月		1											
	5 月				6			2	828			4	832	
	6 月								49				49	
	7 月								16				16	
	8 月													
	9 月		1	6		1	1	2	1,591			1,047	2,638	
	10 月				6			1						
	11 月	1	1						22	3			25	
	12 月	1												
	合計	2	3	18		1	4	5	2,547	3	54	1,480	4,084	
市町	光 市		1	9			2	2	820	3		1,476	2,299	
	田布施町	1	1	9		1	2	3	1,727		54		1,781	
	周南市	1	1									4	4	
	合計	2	3	18		1	4	5	2,547	3	54	1,480	4,084	
年	令和元年	2	3	19	4		6	10	64,843		271	26	65,140	
	令和 2 年	1	4	37	3	1	10	14	45,224	284	450	101	46,059	
	令和 3 年	1	5	21	4	1	5	10	72,844	195	131	176	73,346	
	令和 4 年	1	1	47	9	1	13	23	74,982		758	265	76,005	
	令和 5 年	3	5	22	5	3	6	14	63,811	147	590	2,467	67,015	

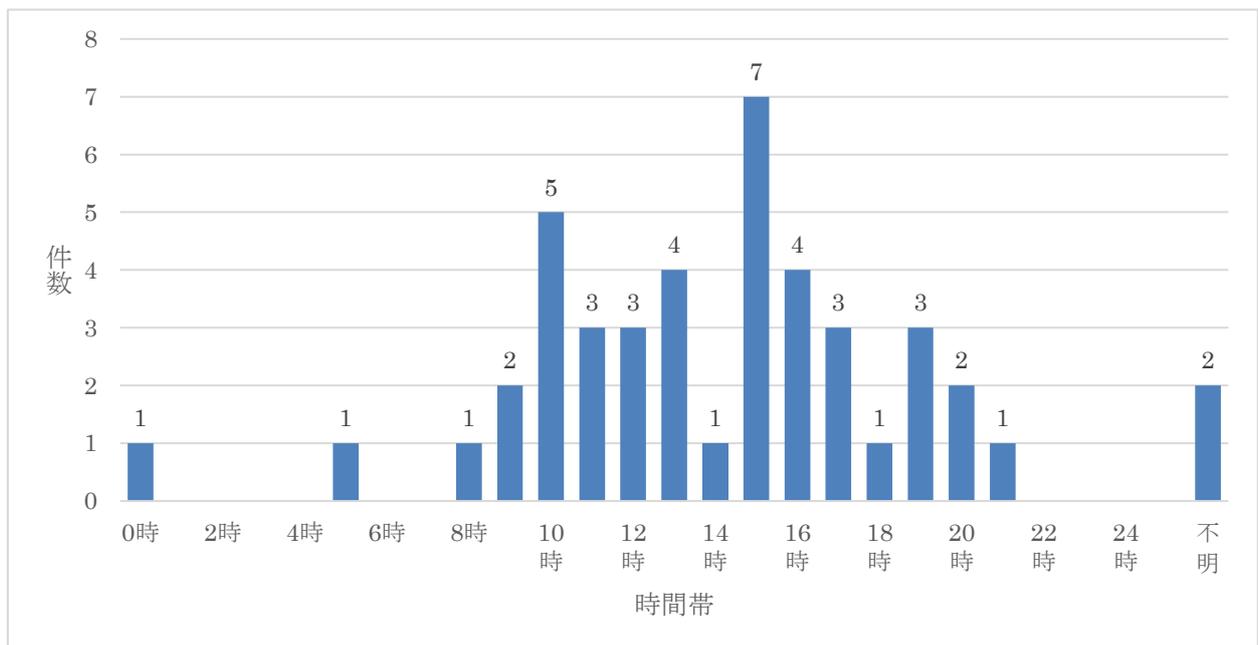
出火原因別火災件数

令和6年中 単位：件

出火原因 \ 火災種別	建 物	林 野	車 両	その他	合 計
たばこ	2	2		2	6
こんろ	2				2
電気機器	1				1
電灯・電話等の配線				3	3
配線器具					
火あそび					
マッチ・ライター					
たき火		2		14	16
火入れ					
放火				4	4
その他	3		1	5	9
不明	1	2			3
合 計	9	6	1	28	44

時間別火災発生状況

令和6年中



## 救急

令和6年中の出動件数は4,595件で、前年から217件(5%)増加し、過去最多となりました。

搬送人員数は3,959人で、前年から100人(2.6%)増加し、傷病程度別で見ると、入院を必要としない軽症が1,860人(47%)で約半数を占めています。

### 出動件数

令和6年中 単位：件

区分	種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転搬院送	医搬師送	資等機輸材送	その他	
曜日	月	1		1	29	9	2	100		2	497	88			6	735
	火				26	11	1	102	1	2	431	64			2	640
	水	1			30	7	2	97		2	420	58			4	621
	木			2	30	16	3	98		3	397	68			3	620
	金	1			39	14	4	97		6	441	80			8	690
	土			2	19	4	5	112	2	6	475	49			3	677
	日				28	2	8	115			442	15			2	612
	合計	3		5	201	63	25	721	3	21	3,103	422			28	4,595
月	1月				28	6		71		2	305	27			4	443
	2月				15	5		43		3	249	19			1	335
	3月			1	8	3	2	50	1		230	33			5	333
	4月	1			11	3	2	51		2	208	24			2	304
	5月			1	15	5	1	63		3	252	48			4	392
	6月			1	22	5	5	61		2	216	44			2	358
	7月			1	17	4	5	52			324	35			1	439
	8月				23	9	2	54		3	306	31			2	430
	9月	1			11	11	6	52			269	41				391
	10月			1	17	7		67	1	1	227	37			1	359
	11月				19	1	2	81		1	216	37			4	361
	12月	1			15	4		76	1	4	301	46			2	450
	合計	3		5	201	63	25	721	3	21	3,103	422			28	4,595
市町	光市	1		5	124	46	17	448	3	16	2,001	385			18	3,064
	田布施町	2			35	10	5	102		1	470	23			3	651
	周南市				36	6	3	169		4	629	14			7	868
	管轄外				6	1		2			3					12
	合計	3		5	201	63	25	721	3	21	3,103	422			28	4,595
中央消防署	3		5	125	39	18	382	3	14	1,795	347			15	2,746	
中央消防署東出張所				37	15	5	164		3	671	55			6	956	
中央消防署北出張所				39	9	2	175		4	637	20			7	893	
	合計	3		5	201	63	25	721	3	21	3,103	422			28	4,595
年	令和元年	4		4	220	59	32	616	11	19	2,682	380			9	4,036
	令和2年	6		1	209	55	15	623	3	25	2,367	412			9	3,725
	令和3年	6		1	199	54	34	569	11	16	2,468	457	1		20	3,836
	令和4年	2		1	194	66	31	616	10	29	2,807	446			13	4,215
	令和5年	5		3	172	59	28	681	6	25	2,962	421			16	4,378

搬送人員数

令和6年中 単位：人

区分		種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
曜日	月		1			20	8	2	86			425	88	630
	火					24	11	1	93		2	373	63	567
	水					28	7	2	88		1	346	58	530
	木				1	26	15	3	88		1	336	68	538
	金		1			33	13	5	78		1	379	80	590
	土				1	14	4	5	104	1	4	402	49	584
	日					26	2	8	103			366	15	520
	合計		2		2	171	60	26	640	1	9	2,627	421	3,959
月	1月					25	6		67		2	241	27	368
	2月					14	5		39		1	206	19	284
	3月					7	2	2	41	1		208	33	294
	4月		1			8	3	2	47		1	182	24	268
	5月				1	17	5	1	58		1	212	47	342
	6月				1	21	5	5	52		1	188	44	317
	7月					13	4	5	47			273	35	377
	8月					21	9	2	46		1	263	31	373
	9月		1			6	10	7	45			232	41	342
	10月					16	6		56		1	190	37	306
	11月					13	1	2	72			189	37	314
	12月					10	4		70		1	243	46	374
	合計		2		2	171	60	26	640	1	9	2,627	421	3,959
市町	光市		1		2	110	43	18	409	1	8	1,712	384	2,688
	田布施町		1			26	10	5	87		1	396	23	549
	周南市					33	6	3	142			516	14	714
	管轄外					2	1		2			3		8
	合計		2		2	171	60	26	640	1	9	2,627	421	3,959
中央消防署			2		2	113	37	19	342	1	8	1,545	347	2,416
中央消防署東出張所						25	15	5	148		1	562	54	810
中央消防署北出張所						33	8	2	150			520	20	733
合計			2		2	171	60	26	640	1	9	2,627	421	3,959
年	令和元年		2		2	219	56	32	570	7	11	2,388	380	3,667
	令和2年		5		1	207	55	15	583	3	15	2,176	412	3,472
	令和3年		6		1	201	54	35	539	10	9	2,197	456	3,508
	令和4年		1			193	61	31	550	6	23	2,501	446	3,812
	令和5年		3		2	145	59	27	629	5	14	2,557	418	3,859

事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員数

令和6年中 単位：人

年齢区分 ・程度	種別	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
		災	害	難	事	災	競	負		行		他	
		災	害	難	故	害	技	傷		為			
新生児	死 亡												
	重 症											3	3
	中等症										2	10	12
	軽 症										1		1
	その他												
	計										3	13	16
乳幼児	死 亡										1		1
	重 症												
	中等症							3			17	2	22
	軽 症				6			22			84		112
	その他												
	計				6			25			102	2	135
少年	死 亡												
	重 症												
	中等症				2		2	3			8	1	16
	軽 症				12		12	14			54	2	94
	その他												
	計				14		14	17			62	3	110
成人	死 亡										4		4
	重 症				5			1		1	15	3	25
	中等症	1			18	7	1	11		4	128	88	258
	軽 症				71	37	9	37		3	297	3	457
	その他												
	計	1			94	44	10	49		8	444	94	744
高齢者	死 亡			2	1			1			70	1	75
	重 症				2	1		11		1	70	8	93
	中等症	1			16	6	1	283			989	294	1,590
	軽 症				38	9	1	254	1		887	6	1,196
	その他												
	計	1		2	57	16	2	549	1	1	2,016	309	2,954
合 計	死 亡			2	1			1			75	1	80
	重 症				7	1		12		2	85	14	121
	中等症	2			36	13	4	300		4	1,144	395	1,898
	軽 症				127	46	22	327	1	3	1,323	11	1,860
	その他												
	計	2		2	171	60	26	640	1	9	2,627	421	3,959

※傷病程度は、次のとおり。(以下同じ。)

- 1 死 亡:初診時において死亡が確認されたもの。
- 2 重 症:傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
- 3 中等症:傷病程度が重症または軽症以外のもの。
- 4 軽 症:傷病程度が入院加療を必要としないもの。
- 5 その他:医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの。  
 なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、骨折等で入院の必要はないが、通院による治療が必要な者は軽症として分類されている。

※年齢区分は、次のとおり。(以下同じ。)

- 1 新生児:生後28日未満の者
- 2 乳幼児:生後28日以上満1歳未満の者
- 3 少 年:満7歳以上満18歳未満の者
- 4 成 人:満18歳以上満65歳未満者
- 5 高齢者:満65歳以上の者

救急隊員の行った応急処置（１）

令和6年中 単位：人

種別・程度		応急処置項目		止血	固定	人工呼吸	胸骨圧迫	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温	被覆	在宅療継続	除細動	
		対象者													
急病	死亡	75				8	1	73	75	74		1		6	
	重症	85				11	2	30	68	40	3		1	5	
	中等症	1,143	3			4			379	23	10	5	26		
	軽症	1,321	6	4					69		1	6	7		
	その他														
	計	2,624	9	4	23	3	103	591	137	14	12	34	11		
交通事故	死亡	1						1	1	1					
	重症	7	2	6					4		1	4			
	中等症	36	5	17					9		1	10			
	軽症	125	5	22					5			24			
	その他														
	計	169	12	45			1	19	1	2	38				
一般負傷	死亡	1				1		1	1	1					
	重症	12	1	2				3	5	4		2			
	中等症	300	17	15					8		3	29			
	軽症	326	45	16					4		2	104			
	その他														
	計	639	63	33	1		4	18	5	5	135				
上記以外	死亡	3				1		3	3	3					
	重症	16				1	1	2	8	3				1	
	中等症	415	3	4					142	2	1	6	1		
	軽症	83	9	2					5			13			
	その他														
	計	517	12	6	2	1	5	158	8	1	19	1	1		
合計	死亡	80				10	1	78	80	79		1		6	
	重症	120	3	8		12	3	35	85	47	4	6	1	6	
	中等症	1,894	28	36		4			538	25	15	50	27		
	軽症	1,855	65	44					83		3	147	7		
	その他														
	計	3,949	96	88	26	4	113	786	151	22	204	35	12		

救急隊員の行った応急処置（２）

令和6年中 単位：人

種別・程度	応急処置項目	輸液	薬剤投与	血圧測定	聴診	血中酸素濃度測定	心電図	静脈路確保		血糖測定	ブドウ糖投与	左記以外	全応急処置合計
								心肺停止前	心肺停止後				
急病	死亡	29	27	2	26	4	75		29			74	504
	重症	10	7	62	31	60	82	1	9	9		64	495
	中等症	5		1,124	432	1,132	751			61	5	497	4,462
	軽症	11		1,262	285	1,317	655			26	11	573	4,244
	その他												
	計	55	34	2,450	774	2,513	1,563	1	38	96	16	1,208	9,705
交通事故	死亡						1					1	5
	重症			7	5	7	4					6	46
	中等症			36	20	36	11					22	167
	軽症			123	37	125	16					49	406
	その他												
	計			166	62	168	32					78	624
一般負傷	死亡						1					1	6
	重症	1	1	10	3	9	6		1			9	57
	中等症			299	25	300	54			2		100	852
	軽症			308	31	324	48			1		164	1,047
	その他												
	計	1	1	617	59	633	109		1	3		274	1,962
上記以外	死亡	1	1		1		3		1			3	20
	重症			12		13	6					3	50
	中等症			405	85	413	137			1		38	1,238
	軽症			83	2	83	10					29	236
	その他												
	計	1	1	500	88	509	156		1	1		73	1,544
合計	死亡	30	28	2	27	4	80		30			79	535
	重症	11	8	91	39	89	98	1	10	9		82	648
	中等症	5		1,864	562	1,881	953			64	5	657	6,719
	軽症	11		1,776	355	1,849	729			27	11	815	5,933
	その他												
	計	57	36	3,733	983	3,823	1,860	1	40	100	16	1,633	13,835

ドクターヘリ要請件数

令和6年中の救急出動のうち、ドクターヘリの出動を要請した件数は3件で、そのうち、ドクターヘリにより医療機関へ搬送された傷病者は2人でした。 単位：件、人

発生場所		光 市	田布施町	周 南 市	合計
令和4年	要請件数				
	搬送人員数				
令和5年	要請件数	4	3	2	9
	搬送人員数	2	2	2	6
令和6年	要請件数		2	1	3
	搬送人員数		2		2

応急手当の普及啓発活動実施状況

令和6年中は、簡易救急講習 1,822 人、普通救命講習 372 人、上級救命講習 1 人の計 2,195 人へ応急手当に関する講習を行いました。 単位：人

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
簡易救急講習	86	40	6	129	92	554	161	224	135	83	109	203	1,822
普通救命講習	13	20	65	27	8	40	35	6	77	23	30	28	372
上級救命講習								1					1
合 計	99	60	71	156	100	594	196	231	212	106	139	231	2,195

救急資機材配備状況（主な資機材）

令和7年4月1日現在 単位：式

資機材名	配備先			合計
	中央消防署	中央消防署 東出張所	中央消防署 北出張所	
自動体外式除細動器(AED)	5	2	2	9
患者監視装置	3	1	1	5
自動式人工呼吸器	3	1	1	5
自動式胸骨圧迫器	3	1	1	5
携帯吸引器	3	1	1	5
携帯用血圧計	6	2	2	10
携帯用血中酸素飽和度測定器	3	2	1	6
携帯用呼気二酸化炭素測定器具	3	1	1	5
血糖測定器	3	1	1	5
ビデオ硬性挿管用喉頭鏡	3	1	1	5

## 救助

令和6年中の救助出動件数は40件で、前年と比較すると14件増加しました。  
事故種別では、交通事故による出動が最も多くなっています。

### 事故種別出動件数

令和6年中 単位：件

種別 市町・年		火災	交通 事故	水難 事故	自然災 害事故	機械 事故	建築物 等によ る事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他	合 計
		市 町	光 市		12	4			6	1	
田布施町			7							1	8
周南市			1							1	2
管轄外			3								3
合 計			23	4			6	1		6	40
年	令和元年		23	4		5				8	40
	令和2年		31	1		1	1	1		8	43
	令和3年		17	1		1		1		8	28
	令和4年		14	2		1				4	21
	令和5年		14	1		2	4			5	26

### 特殊器具配置状況

令和7年4月1日現在 単位：式

器具		配置先	消防本部	中央消防署	中央消防署 東出張所	中央消防署 北出張所	合 計
		一 般 救 助 器 具	カギ付はしご			5	1
金属製折りたたみはしご				1			1
救命索発射銃				1			1
平担架				2			2
三連梯子				4	1	1	6
空気式救助マット				1			1
サバイバースリング・救助用縛帯				6	1	1	8
重 量 物 排 除 用 器 具	油圧ジャッキ			2	1		3
	可搬式ウインチ			3	1	1	5
	大型油圧スプレッダー			1	1	1	3
	油圧スプレッダー			2			2
	マンホール救助器具			1			1
	マット型空気ジャッキ			1			1
切 断 用 器 具	大型油圧切断機			1	1	1	3
	油圧切断機			2			2
	ガス溶断器			1			1
	鉄線カッター			6	1	1	8
	エンジンカッター			3	1	1	5

器具		配置先	消防本部	中央消防署	中央消防署 東出張所	中央消防署 北出張所	合計
切器 断 用具	チェーンソー			3	1	2	6
	空気鋸			1		1	2
	空気切断機			2	1	1	4
破 壊 用 器 具	万能斧			10	3	4	17
	携帯用コンクリート破壊器具			1	1		2
	ハンマドリル			1			1
	削岩機			1			1
測 器 定 用 具	有毒ガス測定器			6	1	1	8
	放射線測定器			9			9
	可燃性ガス測定器			4	1	1	6
	酸素濃度測定器			6	1	1	8
隊 員 保 護 用 器 具	耐電手袋			19	5	5	29
	耐電ズボン			5			5
	防毒マスク			19	3	3	25
	陽圧式化学防護服			12	6	6	24
	放射線防護服			3			3
	耐電衣			5			5
	耐電長靴			5			5
	携帯警報器			13			13
	化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）			10	8	3	21
	耐熱服			4	1	1	6
呼 保 器 護 吸 用 具	空気呼吸器			30	5	5	40
	防塵マスク			38	10	8	56
	送排風器			1			1
水 難 救 助 用 器 具	潜水器具			10			10
	水中投光器			5			5
	浮標			1			1
	船外機			2			2
	水中テレビカメラ			1			1
	救命胴衣			25	8	8	41
	救命浮環			4	1	1	6
	救助用ボート			2			2
そ の 他 の 器 具	登山器具			1			1
	ロープ登降機			4			4
	バスケット型担架			5	1	1	7
	簡易画像探索器			1			1
	熱画像直視装置			1	1	1	3
	無人航空機（ドローン）		1				1

器具	配置先	配置先			合 計	
		消防本部	中央消防署	中央消防署 東出張所		中央消防署 北出張所
その 他 の 器 具	投光器		10	3	3	16
	携帯拡声器		16	2	2	20
	発電機	1	8	3	2	14
	応急処置用セット		1	1	1	3
	救助用降下器		1			1
	携帯用投光器	3	33	6	8	50

## ホース保有状況

令和7年4月1日現在 単位：本

保有先 ホース径	保有先			合 計
	中央消防署	中央消防署 東出張所	中央消防署 北出張所	
65mm	147	74	74	295
50mm	117	50	50	217
合 計	264	124	124	512

## 消火薬剤備蓄状況

令和7年4月1日現在 単位：リットル

保管先	薬剤の区分			合 計
	蛋白泡(3%)	合成界面活性剤	水溶性液体用泡 (6%)	
中央消防署	280	4,640	1,700	6,620
中央消防署東出張所		380		380
中央消防署北出張所		340		340
合 計	280	5,360	1,700	7,340

## 車両の配備

令和7年4月1日現在 単位：台

車両区分	配備先	配備先			合 計	
		消防本部	中央消防署	中央消防署 東出張所		中央消防署 北出張所
消防ポンプ自動車			1	1	1	3
水槽付消防ポンプ自動車			2	1	1	4
屈折はしご自動車			1			1
化学消防車			1			1
救助工作車			1			1
高規格救急自動車			3	1	1	5
資機材搬送車	1					1
指揮車			1			1
広報車	1	1	1	1	1	4
上記以外の車両		3	2			5
合 計		5	13	4	4	26

※水槽付消防ポンプ自動車・高規格救急自動車は、非常用車両を含む。

車両の配備（詳細）

令和7年4月1日現在

配備先	車両呼称	区 分	車 両 メーカー	ポンプ 能 力	備 考
消防本部	光 11	資機材搬送車	いすゞ	—	
	光 13	広報車	スズキ	—	
	サンバー	乗用車	スバル	—	
	セレナ①	乗用車	日産	—	
	セレナ②	乗用車	日産	—	
中央消防署	光 1	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	B-3 級	
	光 2	消防ポンプ自動車	日野	A-1 級	
	光 3	水槽付消防ポンプ自動車	三菱ふそう	A-2 級	積載水量 1,500ℓ 非常用車両
	光 4	屈折はしご自動車	三菱ふそう	—	25m 級
	光 5	化学消防車	いすゞ	A-2 級	積載水量 2,500ℓ 積載薬液量 300ℓ
	光 7	救助工作車	日野	—	
	光 8	水槽付消防ポンプ自動車	三菱ふそう	A-1 級	積載水量 1,700ℓ
	光 14	広報車	トヨタ	—	
	光 15	指揮車	トヨタ	—	
	光救急 1	高規格救急自動車	トヨタ	—	
	光救急 3	高規格救急自動車	トヨタ	—	
	光救急 5	高規格救急自動車	トヨタ	—	非常用車両
		ボートトレーラー		—	光 15 にて牽引
中央出張所	光東 1	消防ポンプ自動車	日野	A-2 級	積載水量 600ℓ
	光東 2	水槽付消防ポンプ自動車	日野	B-2 級	積載水量 1,200ℓ
	光東 21	広報車	トヨタ	—	
	光救急 4	高規格救急自動車	トヨタ	—	
中央北出張所	光北 1	消防ポンプ自動車	日野	A-2 級	
	光北 2	水槽付消防ポンプ自動車	日野	A-1 級	積載水量 1,500ℓ
	光北 31	広報車	トヨタ	—	
	光救急 2	高規格救急自動車	トヨタ	—	

# 通 信 指 令 編

## 災害受理状況

令和6年中 単位：回

通報区分 年・月別	火 災	救 急	救 助	その 他の 災害等	いた ずら	テ ス ト	通 報 訓 練	誤 報	医 療 機 関 問 合 せ	そ の 他	合 計
令和2年	28 (16)	3,549 (1,191)	36 (19)	53 (27)	11 (10)	150 (1)	235 (9)	233 (133)	58 (33)	613 (265)	4,966 (1,704)
令和3年	33 (19)	3,698 (1,307)	24 (9)	60 (20)	4 (4)	180 (8)	267 (7)	212 (129)	43 (26)	618 (245)	5,139 (1,774)
令和4年	35 (18)	3,886 (1,474)	13 (6)	52 (17)	8 (5)	159 (5)	231 (7)	170 (95)	94 (61)	604 (287)	5,252 (1,975)
令和5年	42 (26)	4,211 (1,758)	20 (13)	60 (13)	13 (9)	232 (2)	318 (23)	412 (270)	67 (38)	930 (464)	6,305 (2,616)
令和6年											
1月	3 (2)	433 (184)	4 (1)	6 (2)	1 (1)	15 (3)	24 (1)	19 (12)	11 (6)	142 (48)	658 (260)
2月	3 (2)	328 (132)	3 (1)	9 (1)	1 (1)	49 (25)	34 (3)	24 (12)	8 (6)	88 (42)	547 (225)
3月	3 (2)	323 (145)		6 (1)		25 (1)	24 (1)	14 (9)	8 (5)	59 (21)	462 (185)
4月	3 (1)	302 (156)	1	7 (2)		30 (1)	17 (2)	29 (14)	3 (2)	67 (28)	459 (206)
5月	6 (5)	378 (151)	1	2 (1)		33	34 (1)	32 (23)	11 (8)	59 (27)	556 (216)
6月		349 (149)	3	2		28	39 (2)	14 (10)	7 (5)	44 (19)	486 (185)
7月	4 (1)	429 (192)	3	2 (2)		16 (4)	24 (3)	34 (27)	11 (9)	91 (32)	614 (270)
8月	3 (1)	406 (171)	3 (1)	9 (1)	2 (2)	17 (1)	10 (2)	24 (19)	9 (5)	73 (35)	556 (238)
9月	5 (5)	396 (169)	3 (1)	3		17 (1)	28 (2)	22 (15)	20 (13)	87 (53)	581 (259)
10月	1 (1)	345 (142)	6 (4)	3	4	28	36 (2)	25 (20)	6 (3)	71 (32)	525 (204)
11月	5 (3)	353 (148)	2 (1)	2 (1)	1	16 (2)	52 (5)	16 (9)	8 (5)	56 (26)	511 (200)
12月	4 (3)	436 (199)	4 (1)	7 (3)		32	39	31 (23)	10 (8)	103 (47)	666 (284)
合 計	40 (26)	4,478 (1,938)	33 (10)	58 (14)	9 (4)	306 (38)	361 (24)	284 (193)	112 (75)	940 (410)	6,621 (2,732)

※ ( ) は携帯電話からの119番通報

有線通信施設

令和7年4月1日現在

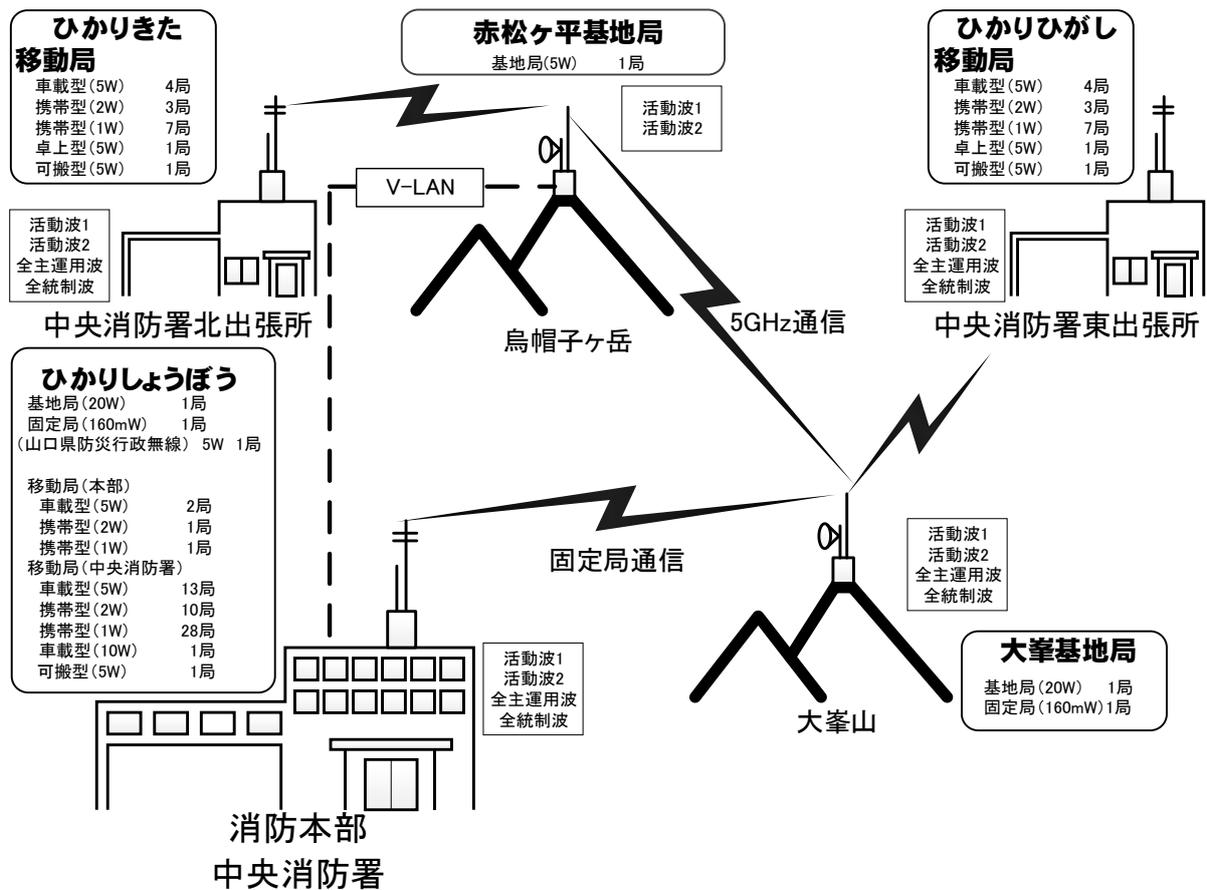
施設	区分	回線名称	回線数	備考
消防本部・中央消防署	加入電話	一般電話回線	5	ISDN (4回線 8チャンネル 9ダイヤル) アナログ (1回線 1チャンネル)
		順次指令回線	3	ISDN (3回線 6チャンネル)
		災害状況自動案内回線	1	ISDN (1回線 2チャンネル)
		救急医療情報システム回線	1	山口県
		携帯電話	9	中央消防署 3台・警防課 1台・高規格救急自動車 5台
	専用回線	警察専用回線	1	
		光市役所回線 (専用)	2	庁内電話
		西日本高速道路株式会社専用回線	1	
		デジタル無線 V-LAN 回線	1	NTT ビジネスユーザー (消防本部-赤松ヶ平)
		統合型発信地回線	2	DA64 (A面、B面)
		指令回線専用線	1	光ファイバー 庁内 WEB、庁内内線、OA 兼用
		FOMA 用専用線	1	車両運用端末装置通信用
		インターネット接続回線	2	光ファイバー (画像伝送、情報共有端末、OA メンテナンス)
		E-mail 119 E-mail 指令回線	1	光ファイバー
		NET119 専用回線	1	光ファイバー
	消防用通報電話	119 番受付回線	2	ISDN (2回線 4チャンネル 18ダイヤル)
		ヘルプネット受付回線	1	ISDN (1回線 2チャンネル 2ダイヤル)
		衛星回線	1	アナログ (119 番受付回線予備)
		携帯電話 119 番受付回線	2	ISDN (2回線 4チャンネル 6ダイヤル)
		携帯電話 119 番転送回線	1	ISDN (1回線 2チャンネル 2ダイヤル)
中央消防署東出張所	加入電話	一般電話回線	1	ISDN (1回線 2チャンネル)
		FAX 回線	1	ISDN (1回線 1チャンネル)
		携帯電話	2	高規格救急自動車 1台・署 1台
	専用回線	衛星電話	1	アナログ (119 番受付回線予備)
		指令回線専用線	1	光ファイバー 庁内 WEB、庁内内線、OA 兼用
中央消防署北出張所	加入電話	一般電話回線	1	ISDN (1回線 2チャンネル)
		FAX 回線	1	ISDN (1回線 1チャンネル)
		携帯電話	2	高規格救急自動車 1台・署 1台
	専用回線	衛星電話	1	アナログ (119 番受付回線予備)
		指令回線専用線	1	光ファイバー 庁内 WEB、庁内内線、OA 兼用

# 無線通信施設

令和7年4月1日現在 単位：台

区分	無線局		固定局		移動局						合計
	基地局				車載	携帯	携帯	可搬	卓上	車載	
	20W	5W	5W	160mW	5W	2W	1W	5W	5W	10W	
消防本部	1			1	2	1	1				6
中央消防署					13	10	28	1		1	53
中央消防署東出張所					4	3	7	1	1		16
中央消防署北出張所					4	3	7	1	1		16
大峯基地局	1			1							2
赤松ヶ平基地局		1									1
山口県防災行政無線			1								1
合計	2	1	1	2	23	17	43	3	2	1	95

# 無線系統図



# 防 災 セ ン タ ー 編

## 役割

防災における地域コミュニティの役割や防災全般の知識について学ぶことができる施設であり、光地区消防組合の管轄内外を問わず、子供から大人まで誰もが気軽に利用できます。

## 月別利用状況

令和6年中 単位：人（団体を除く。）

区分		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
個人							1							1
団体		31		35	42	82	309	35	61	98	361	233	72	1,359
合計		31		35	42	82	310	35	61	98	361	233	72	1,360
市町別	光市	16		22	42	54	240		16	93	135	110	58	786
	田布施町					1	26	3			80	66		176
	周南市	7				1			23		45			76
	管轄外	8		13		26	44	32	22	5	101	57	14	322
	合計	31		35	42	82	310	35	61	98	361	233	72	1,360
年齢区分別	幼児	14				24	10	14	20	38	45	89		254
	小・中学生			17	32		187	4	20		242	89		591
	高校生以上	9		12	10	58	85	17	20	53	45	39	60	408
	65歳以上	8		6			28		1	7	29	16	12	107
	合計	31		35	42	82	310	35	61	98	361	233	72	1,360
年別	令和元年	35	55	96	68	184	440	159	135	53	1,188	408	55	2,876
	令和2年	4	51											55
	令和3年									25	117	102	36	280
	令和4年				29		47	21		4	252	35		388
	令和5年	32		57	20	199	67	42	133	42	527	149		1,268

## 利用団体内訳

令和6年中 単位：人

団体区分	幼稚園 保育所	小中学校	官公庁	企業	その他	合計
利用者数	340	560		179	281	1,360



廃棄消防用ホースを再利用した職員手作りのコースター

令和7年7月発行

編集 **光地区消防組合  
消防本部企画財務課**

〒743-0011

山口県光市光井六丁目16番1号

電話 0833-74-5601

FAX 0833-74-5611

E-mail kikaku@119.city.hikari.lg.jp

URL <https://www.119.city.hikari.lg.jp>